

カテーテル・アブレーションを受けられる方へ（入院診療計画書・退院療養計画書）

患者：@ORIBP KANJI@ 様

病名：

神戸市立医療センター中央市民病院 循環器内科

主治医：小堀敦志／

印

経過・日時	入院日（ / ）～治療前日	治療当日（ / ）	退院日（ / ）	退院後
	午後2時に2階入退院窓口にて入院手続きを済ませた後に、入院病棟へお越し下さい。	治療開始時刻までは病室でお過ごし下さい。 下記の事前準備をしていただきます。時間がまいましたら看護師と一緒に、4階の血管造影室へ行きます。治療後はベッドで病室へ戻ります。	午前10時に退院していただきます。会計は後日になることがあります。車の運転は控えて下さい。	退院翌日からは、これまで通りの生活に復帰できます。
治療/処置	剃毛はできるだけ入院までにご自宅をお願いします。T字帯を病院1階売店などにてご購入ください。	カテーテル・アブレーション開始予定時刻は多少前後しますので、ご了承ください。 術前に弾性ストッキングの着用、尿道カテーテルの挿入、持続点滴の開始を致します。	止血確認など、治療後の異常がないことを確認します。	ガーゼ・絆創膏を外して下さい。穿刺部の出血・腫れ・痛みが増強すれば御連絡下さい。
検査	心電図など	血液検査（必要に応じて）	心電図など	
薬剤 （点滴/内服）	中止の指示があった内服薬は指示通りに中止して下さい。その他の内服薬は継続して下さい。 薬剤師は医師と情報共有して薬物療法を安全に進めていきます	術前より点滴があります。術前は糖尿病薬などの中止指示に従って下さい。 術後は治療結果により内服薬の調整を行うことがあります。	内服薬は指示通りに開始・再開して下さい。	処方されたとおりに内服して下さい。
安静度 リハビリ	院内自由です。 入院中に必要があれば、医師と理学療法士、作業療法士、言語聴覚療法士の協議によりリハビリテーションを行います。	治療後は通常半日ほどのベッド上安静が必要となります。 以後は病棟内自由が基本となります。	院内自由です。	制限ありません。
食事	心臓病食(減塩) 医師と栄養管理部の協議により病状に合った治療食を提供します。	治療後の安静中も食事可能です。	心臓病食(減塩)	制限ありません。
清潔	大腿部の毛ぞり確認後に入浴可能	シャワー・入浴はできません。	退院翌日から入浴可能です。	
排泄	病棟トイレ	病棟トイレ(歩行可能となるまで介助します)	病棟トイレ	
患者さん及び 家族への 説明・指導 看護	入院日の夕方以降に主治医よりアブレーション治療の説明があります。ご家族も同席下さい。説明用パンフレットを持参下さい。	治療終了時に治療結果について主治医より説明があります。(場合によっては夕方以降になります。)	退院後の療養につき説明いたします。 薬剤の指導を行います。	ご自身にて1分間の脈拍数と脈不整を計測して下さい。発作の再発など異常時には受診下さい。

私は、今回の治療計画について上記の説明を受け、十分に理解し、納得しましたので、その実施に同意いたします。

令和 年 月 日

患者氏名：